全体	18
個別	04-01

令和2年度 [市 民 生 活 部] 組織目標

課 名 税 務 課

総合	合計画	挑戦	対象外						
0	区 分	最優先課題							
項	目	滞納処分の	· 強化						
内	容	 ・厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産調査、預貯金調査、生命 険等の調査を行い、差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の充 を図ります。 ・長期差押不動産の換価価値を精査したうえで、換価が見込めるものは公 し、換価困難なものについては他の滞納整理方法を検討します。 ・軽自動車税の徴収を強化します。 ・市民税の特別徴収を推進します。 							
市税 国保税 指 標 (数値目標)			現年分徴収率 98.50 % (前年度実績) 97.82 % 滞納分徴収率 15.00 % (前年度実績) 12.06 % 現年分徴収率 94.00 % (前年度実績) 93.01 % 滞納分徴収率 13.00 % (前年度実績) 10.88 %						
達成	战 時 期	令和3年3	月末(出納閉鎖は5月末)						
	取り組み		6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5	月					
	微山	又強化月間							
スケジ	計成	果内研修							
ュールル	浡	带納処分	夜間窓口(月末) 滞納処分(差押え、執行停止、公売)						
			財産調査						

全体	19
個別	04-02

令和2年度 [市 民 生 活 部] 組織目標

課名環境政策課

		1												
計画	挑 戦 ふるさとづくり													
区分	最優先	憂先課題 きれいな地域をつくる												
目	各種	団体が	連携し	たリ	サイク	ル、	ゼロ・	エミ	ッショ	ンの	推進			
容	・生ごみ等資源の再利用システム事業に取り組みます。 ・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減を行います。 ・生ごみ堆肥化協力世帯の募集及び事業内容の周知を行います。													
標直目標)														
成時期 令和3年3月														
取り組み 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月						11月	12月	1月	2月	3月				
		利用シ												7
ステム事 	·業 ———													7
ス 協力世帯の募集及び事 大 業内容の周知 ジ														
	7-1711													
1														
	目 官 日 日 日 で 世 ボージテーカー カムー世 キョーキー	区 分 名 最 各 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	区分最優先課題最優先課題各種団体がき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	区 分 最優先課題 きれ 最優先課題 きれ ・生	区 分 最優先課題 きれいな	区 分 最優先課題 きれいな地域を目 各種団体が連携したリサイク ・生ごみ等資源の再利用シャ・生ごみ堆肥化協力世帯の資源化目標555tl・生ごみの資源源再利用シャ・生ごみ等資源源の再利用シャ・生ごみの資源源の資源では一点では、100 では、100 では	区 分 最優先課題 きれいな地域をつく 目 各種団体が連携したリサイクル、・生ごみ等資源の再利用システム・生ごみ堆肥化協力世帯の募集及 で	区 分 最優 先 課題 きれいな地域をつくる 目 各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・・生ごみ等資源の再利用システム事業・・生ごみ堆肥化協力世帯の募集及び事業 を ・ごみの資源化目標555 t以上・・ごみの資源化目標555 t以上・・生ごみ等資源再利用システム事業 は カ 世帯の募集及び事業 協力世帯の募集及び事	区 分 最優先課題 きれいな地域をつくる 目 各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミ ・生ごみ等資源の再利用システム事業に取り・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減を・生ごみ堆肥化協力世帯の募集及び事業内容 容 ・ごみの資源化目標555t以上・・生ごみ等資源再利用システム事業(目標回収世帯数:3,000世帯) 標質目標) な時期 令和3年3月 取り組み 4月5月6月7月8月9月 生ごみ等資源再利用システム事業協力世帯の募集及び事	区 分 最優先課題 きれいな地域をつくる 目 各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッショ ・生ごみ等資源の再利用システム事業に取り組み・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減を行い・生ごみ堆肥化協力世帯の募集及び事業内容の周急容 ・ ごみの資源化目標555t以上・生ごみ等資源再利用システム事業の実施(目標回収世帯数:3,000世帯) 標直目標) 応 時 期 令和3年3月 取り組み 4月5月6月7月8月9月10月 生ごみ等資源再利用システム事業 協力世帯の募集及び事	区 分 最優 先 課題 きれいな地域をつくる 目 各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションの ・生ごみ等資源の再利用システム事業に取り組みます。・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減を行います。・生ごみ堆肥化協力世帯の募集及び事業内容の周知を行容	区 分 最優先課題 きれいな地域をつくる 目 各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションの推進 ・生ごみ等資源の再利用システム事業に取り組みます。・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減を行います。・生ごみ堆肥化協力世帯の募集及び事業内容の周知を行いまで 容 ・ごみの演量化目標555 t以上・生ごみ等資源再利用システム事業の実施(目標回収世帯数:3,000世帯) 標 信目標) な時期 令和3年3月 取り組み 4月5月6月7月8月9月10月11月12月 生ごみ等資源再利用システム事業協力世帯の募集及び事業	区 分 最優先課題 きれいな地域をつくる 日 各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションの推進 ・生ごみ等資源の再利用システム事業に取り組みます。 ・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減を行います。 ・生ごみ堆肥化協力世帯の募集及び事業内容の周知を行います。 を ・ ごみの資源化目標55t以上・ごみ等資源再利用システム事業の実施(目標回収世帯数:3,000世帯) 標	区 分 最優先課題 きれいな地域をつくる 日 各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションの推進 ・生ごみ等資源の再利用システム事業に取り組みます。・生ごみ堆肥化協力世帯の募集及び事業内容の周知を行います。・生ごみの資源化目標550t以上・ごみの資源に目標55t以上・生ごみ等資源再利用システム事業の実施(目標回収世帯数:3,000世帯) 標標直目標) な 時 期 令和3年3月 取り組み 4月5月6月7月8月9月10月11月12月1月2月 生ごみ等資源再利用システム事業 協力世帯の募集及び事

全体	20
個別	04-03

令和2年度 [市 民 生 活 部] 組織目標

課名 環 境 政 策 課

総合	合計画	挑戦	ふるさとづくり								
の	区 分	最優先課題	きれいな地域をつくる								
項	目	漂流・漂着									
内	容	 海岸漂着物処理推進法及び長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助活用し、漂着物被害が著しい海岸を中心に海岸漂着物の円滑な処理をていきます。 海岸漂着物等の発生抑制のための関係者間の連携・交流等を目的とし境学習を広く開催します。(日韓市民ビーチクリーンアップ事業等) 									
指(数	標値目標)	(回収・ ・発生抑制 えた上市で ※日韓にに 釜山に大きく	度の回収・処理を参考に、漂着ごみの計画的な回収を実施します。 処理予定数量:トン袋で8,000袋) 対策事業は、今後の新型コロナウイルス感染症の国の動向を見据 、実施に向けて検討していきます。 ビーチクリーンアップ事業、日韓交流海ごみワークショップIN いては、韓国外国語大学との協力体制が不可欠で国交の経済活動 影響されてきます。 馬でのそれぞれの清掃活動とオンラインによるワークショップな します。								
達月	成 時 期	令和3年3	月								
	耳	対組み	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月								
	漂着ごみ回収・処理の 実施										
スケジュー	環境学習	の実施									
		えビーチクリー 『事業の開催	実施予定								
ル		流海ごみワーク 『IN釜山の開	実施予定								
	漂着ごみの開催	*回収イベント	実施予定								